

「NO」を合い言葉に、既成の価値観を問い直す叛乱が始まった。

日本写真史

東京都写真美術館 二階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

二〇一三年五月十一日(土)

—七月十五日(月)祝

1968—Japanese Photography



provoke
1



「provoke」創刊号(1968年11月)の表紙。編集者：高橋洋一、写真家：高橋洋一、デザイナー：高橋洋一、印刷：高橋洋一、発行所：高橋洋一、〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 高橋洋一ビル1F



一九六〇年代後半、世界中のあらゆる領域でこれまでの枠組みに対して根源的な問いかけと異議申し立てが行われました。写真においても、近代写真が構築した「写真」の独自性とそれを正当化する「写真史」への問いかけが始まりました。一九六八年は、「写真100年」——日本人による写真表現の歴史展、「カメラ毎日」での「コンボラ写真」の特集、「プロヴォーク」——思想のための挑発的資料」の創刊、そして沸騰する学生運動は大学から路上へ、さらに農村へと展開し、闘争の側から撮影した写真群が巷に叛乱してゆくなど、今日の「写真」の社会的な枠組みを考える上で重要な出来事が集中して現れました。本展では、「1968年」を中心にして、一九六六から七四年の間で、日本で「写真」という枠組みがどのように変容し、世界を変容させていったかをたどり、「写真とは」「日本とは」「近代とは」をさぐります。

二〇一三年五月十一日(土)
—七月十五日(月)祝
東京都写真美術館 二階展示室
恵比寿ガーデンプレイス内

主催：東京都写真美術館

開催時間：午前10時～午後6時(末・金は午後8時、入館は閉館の30分前)
休館日：毎週月曜日

観覧料：一般・六〇〇円(四〇〇円)、学生・五〇〇円(四〇〇円)
中・高生・六十五歳以上・四〇〇円(三〇〇円)

※(一)は〇名以上の団体料金

※東京都写真美術館の会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料

※第三水曜日は六十五歳以上無料

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金

※(一)は〇名以上の団体料金



東京都写真美術館 www.syabi.com